

実地研修を通じた病院と訪問看護 ステーションの連携と相互理解

社会医療法人孝仁会 釧路孝仁会記念病院

看護師 齋藤 まり子

令和8年3月18日

～研修の目的～

- 実際の在宅現場を見学する
- 役割や視点の違いを理解する
- 病棟での看護師の役割を再確認する





～研修の背景～

- ・ 退院後の生活を見据えた支援の重要性
- ・ 在宅医療のニーズの増加
- ・ 病院と訪問看護の相互理解

私は、看護学生時代から

訪問看護に非常に興味がありました。

こんなチャンスは、滅多にない！！

と思い、今回参加させて頂きました。



★看護学生時代の実習や、言葉ではわかっているけど、
実際の在宅を知る機会は少ない！

～研修内容～

- ・ 実際の在宅・施設へ同行
- ・ 利用者宅での看護実践の見学
- ・ 退院前カンファレンスへ同行



～病院と在宅の視点の違い～

◎病院
治療・安全管理が中心

医療の環境が整っている

◎在宅
生活全体が支援対象

家族・居住環境を含めた判断が必要



～病棟での看護師の役割の再確認～

- ・ 退院後の生活を想像したケアの提供
- ・ ADLの維持・向上や生活背景を踏まえた指導
- ・ 家族支援を含めた包括的な看護
- ・ 情報提供の質の向上



まとめ

病院では、患者さんに最も近い存在であるため、現状の患者さんのADLの維持や目先のケアだけではなく、退院後の生活を見据えた看護をしなければいけないという事。

訪問看護は、患者さんの生活に最も近い場所で看護できる素敵な環境であるという事。





ご清聴ありがとうございました(=°ω°)ノ

